

健診と連携したナッジ糖尿病予防プログラム

健診で発見される前糖尿病状態は多く（特定健診受診者の20%）、糖尿病進行のハイリスク（年間5-10%）。その後の医療費増加にも関連。

しかし、既存保健事業ではカバーできていない重要な課題

データとエビデンスに基づき、生活習慣改善を通して糖尿病を予防する効果的な介入が求められる

①（特定）健診データの活用、②負担の少ない介入アプローチ、③科学的なアウトカム評価

健診データで前糖尿病の抽出



ナッジを活用した糖尿病予防プログラム

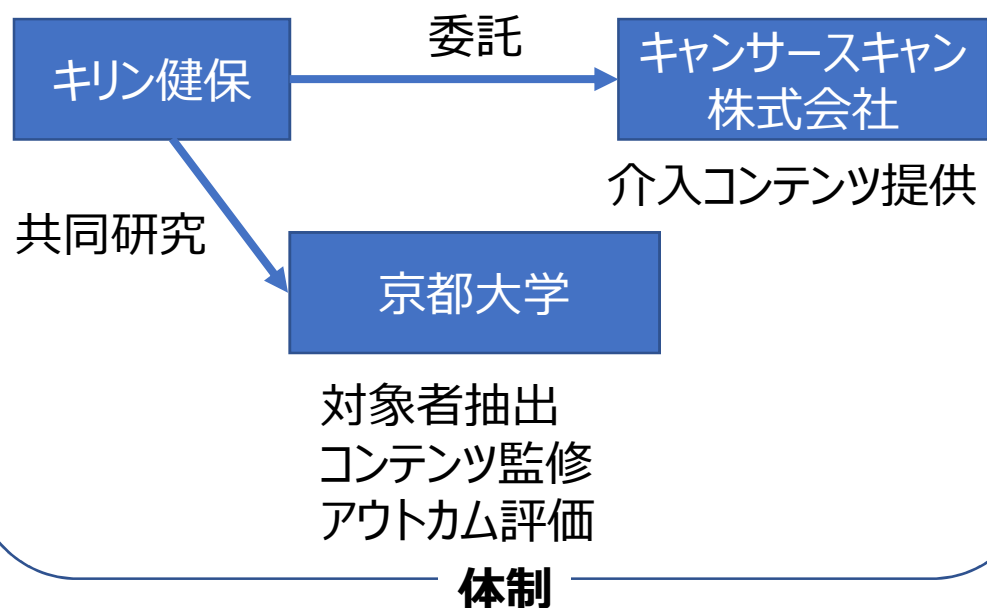
- ・食習慣改善のためのコンテンツ
- ・SMSを利用したテキストメッセージ



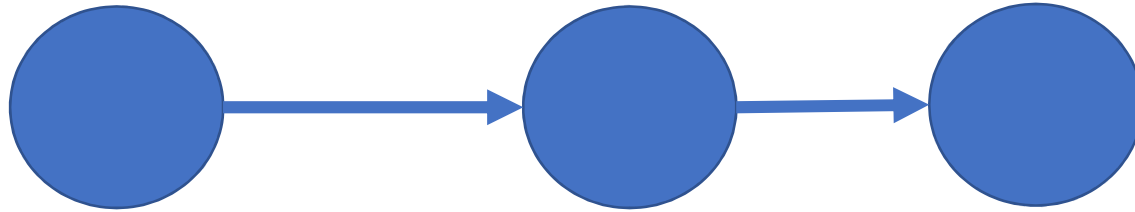
妥当な研究デザインでアウトカム評価

期待される成果

健診後の介入を強化し、前糖尿病状態からの進行を抑制。合併症の減少、将来の医療費適正化



評価デザイン



健診で前糖尿病状態
・HbA1c 5.7-6.4 %
・糖尿病薬なし

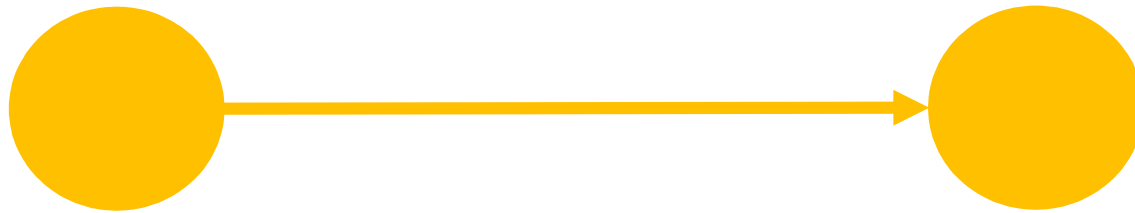
参加同意

介入群
ナッジコンテンツ
チャットアルゴリズム

SMSでメッセージを確認してください



note



過去健診データから抽出

ヒストリカルコントロール

前糖尿病集団を対象にナッジを利用した食習慣介入がHbA1c変化量に与える効果を検証
介入群とヒストリカルコントロールでHbA1c変化量を比較

プログラムへの参加確率を健診データで推定し、傾向スコアマッチング

→健康アウトカム改善効果のエビデンスに基づく保健事業設計